



### オープニング基調講演会「歯周病学を極める」

日時：2011年4月10日(日) 10:00~16:00  
 会場：日本歯科大学生命歯学部富士見ホール  
 講演：①歯周病臨床とインプラント療法の最新の考え方  
 Dr. Kasumi Kuse Barouch (久世香澄)  
 ②日本歯科大学・ハーバード大学  
 歯周病学卒業研修コースの目的と内容  
 沼部幸博 教授  
 ③創傷治癒の原理とペリオにおける硬組織・  
 軟組織の再生～全身と歯周組織の関係、事  
 実あるいはフィクション  
 Dr. Nadeem Y. Karimbux  
 会費：歯科医師20,000円・歯科衛生士・歯科技工士  
 10,000円 ※税込み、昼食代含む

## ハーバード大学協力の卒業研修コース

本学生命歯学部では、ハーバード大学歯学部と連携し、二〇一一年七月から歯周病学卒業研修コースを開催する。

この日本歯科大学・ハーバード大学歯周病学卒業研修コースは、大学卒業後の知識・技術の継続向上をめざし、さらに高度な歯周治療技術の理解と習得に焦点をあてている。研修内容は、日本歯科大学では主に基礎と臨床の基本知識と技術を、ポストンのハーバード大学では歯周治療技術の履修する。募集人員は二十五〜五十名程度。ハーバード大学では、二〇一一年秋、または翌二〇一二年春に、週間程度での集中研修を行う。

なお、同研修コース開催に先立ち、二〇一一年四月十日にハーバード大学歯学部歯周病学講座から講師を迎え、基調講演会を開催する。講師の久世香澄先生は本学七十回卒業、ポストン大学とハーバード大学で歯周病学講座の准教授とインストラクターを務める。

# 第100回本学ワークショップ開く

## 両学部の連携強化にむけて活発な討議

第百回日本歯科大学ワークショップ（世話人 住友雅人生命歯学部 長・小倉英夫新潟生命歯学部 部長・両病院長）が、十一月二十二・二十三日の両日、新潟県十日町市の当間高原リゾートホテル・ベルナティオで開催された。今回で百回目を迎える本学のワークショップは、両学部における連携と改善の推進を目的として、教員三九名、事務系職員六名、計四五名が参加し、二日間わたって活発な討議を行った。

今回のワークショップは、二つの歯学部をもつ日本歯科大学の展望を考え、組織としてのキャリアデザインを構築する両学部の連携をテーマとした。第一日は午後一時に会場に集合、世話人による挨拶と趣旨説明、参加者全員の自己紹介があり、各グループに分かれ



連携への具体策を協議する参加者たち

作業と討議を行った。途中休憩も含めて午後八時まで続けられ、二日目の二十三日は午前中はグループ討議を行い、午後には全体発表と質疑を行った。午後三時に閉講式を終えて解散した。

グループ討議では、行動目標として両学部の特徴、役割、問題点などが示され、活発な意見が交換された。参加者への事前調査でも、東京と新潟では、独立した別の学部という概念でそれぞれが努力してきたが、各分野



グループでの作業後、問題点を討議中

が互いに連携し協力・分担できれば合理的であることが指摘されている。百回目を迎えるワークショップでは、参加者全員から教育・研究・臨床の連携についてさまざまな具体策が挙げられた。

東京・附属病院 口腔リハビリセンター 関連3学会で連続受賞

附属病院の口腔介護・リハビリテーションセンター（菊谷武センター長）では、言語・摂食・嚥下リ

ド大学では歯周治療技術を履修する。募集人員は二十五〜五十名程度。ハーバード大学では、二〇一一年秋、または翌二〇一二年春に、週間程度での集中研修を行う。

なお、同研修コース開催に先立ち、二〇一一年四月十日にハーバード大学歯学部歯周病学講座から講師を迎え、基調講演会を開催する。講師の久世香澄先生は本学七十回卒業、ポストン大学とハーバード大学で歯周病学講座の准教授とインストラクターを務める。

ハビリテーションをテーマとして、毎年数多くの学会発表と論文発表を行っている。平成二十二年度には、関連三学会の学術大会で、学会奨励賞、優秀論文賞を連続受賞した。受賞演題、論文題名は次のとおり。

①高橋賢晃ら「嚥下内視鏡検査を用いた咀嚼時の舌運動機能評価―運動障害性咀嚼障害患者者に対する検討―」（第二十一回日本老年歯科医学会優秀奨励論文賞）

②田代晴基ら「細菌数による口腔衛生評価方法の確立―評価用細菌数測定器の実用に向けて―」（第十六回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会奨励賞）

③田村文蒼ら「要介護高齢者の自食用スプーンの選択に関する考察」（第二十七回日本障害者歯科学会優秀論文賞）

新潟・歯科技工科 優秀論文賞を受賞

新潟病院歯科技工科の渡邊毅技士長は十一月七日、名古屋国際会議場で開催された第三十二回日本技工学会総会で優秀論文賞の表彰を受けた。受賞したのは、同学会誌に掲載された臨床術式論文で、渡邊毅ら「ポリアルタッチメント取り付け用リフアレンスロッドの考案」

### 日本歯科大学校友会

#### 「女性歯科医師の集い2011」

テーマ：女性患者さん向け審美歯科治療最前線  
 日時：2011年4月17日(日)  
 講演会 11:00~12:30 懇親会 13:00~15:00  
 会場：ホテルメトロポリタン・エドモント  
 講師：高橋英登 (66回卒)  
 題：女性患者さんに喜ばれる最新審美修復テクニック  
 ～患者さんが望むメタルフリー、MI、ホワイトニング、  
 新素材デンチャーの現状～  
 参加対象：日本歯科大学卒業の女性歯科医師100名（校友会未入会でも可）  
 会費：5,000円  
 ※ミニデンタルショー開催 ※託児所あり  
 ※参加希望者は3月20日(日)までにFAXでお申込み下さい。  
 申込み先・校友会本部事務局（FAX：03-3264-8745）

# 平成23年度 日本歯科大学入学試験要項

生命歯学部 [検索 http://www.tky.ndu.ac.jp](http://www.tky.ndu.ac.jp)  
 新潟生命歯学部 [検索 http://www.ngt.ndu.ac.jp](http://www.ngt.ndu.ac.jp)

試験区分	一般選抜前期入学試験		大学入試センター試験利用前期入学試験		一般選抜後期入学試験		大学入試センター試験利用後期入学試験		推薦入学後期試験
	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	
学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	新潟生命歯学部
募集人員	約65名	約20名	約25名	約10名	約10名	約5名	約5名	約3名	若干名
出願期間	郵送：23年1月5日(水)～1月26日(水) 窓口：23年1月26日(水)・1月27日(木)		郵送：23年1月11日(火)～1月26日(水) 窓口：23年1月26日(水)・1月27日(木)		郵送：23年2月14日(月)～2月23日(水) 窓口：23年2月23日(水)		郵送：23年2月28日(月)～3月9日(水) 窓口：23年3月9日(水)		郵送：窓口とも： 23年3月18日(金)～3月25日(金)
出願場所・試験場	日本歯科大学生命歯学部(東京) 〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎03-3261-8311								
試験日	学力試験、面接試験とも 平成23年2月1日(火)		面接試験：平成23年2月5日(土)		学力試験、面接試験とも 平成23年2月27日(日)		面接試験：平成23年3月15日(火)		英語小テスト、面接試験とも 平成23年3月26日(土)
合格発表	2月4日(金)午前10時、生命歯学部(東京)に 掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する		2月7日(月)午前10時、生命歯学部(東京)に 掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する		2月28日(月)午前10時、生命歯学部(東京)に 掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する		3月16日(水)午前10時、生命歯学部(東京)に 掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する		平成23年3月26日(土)に本人と高等学校 長宛に可否通知を速達郵便で発送する
手続期限	平成23年2月14日(月)		平成23年2月15日(火)		平成23年3月7日(月)		平成23年3月23日(水)		平成23年4月1日(金)

(注) 一般選抜入学試験(前期・後期)・大学入試センター試験利用入学試験(前期・後期)は、生命歯学部(東京)と新潟生命歯学部共通の試験で行い、両学部を併願可能。